



法人間交流研修の取り組み

社会福祉法人三寿福祉会 友喜苑 相談員 倉本浩行

社会福祉法人三寿福祉会では、

各事業所において毎月1回程度

の施設内研修会を開催し、職員の

スキルアップや情報の共有、また

常に関係する新しい情報を収集

し、職員に対して情報発信をして

います。今年度より、「NPO法

人よつ葉福祉会」様と法人合同の

研修会の取り組みを始め、より幅

広い視点で勉強できる機会を得

ることができました。

社会福祉法人三寿福祉会は、障

害者や高齢者に対して様々なサ

ービス提供ができるように、幅広

く事業展開をしておりますが、

主たる事業は第一種社会福祉事

業であります。今回の法人間交

流研修会においては、入所施設

での個人のあり方や、感染症対

策など、多岐にわたり入所施設

としての視点でいろんな情報提

供ができればと考えておりま

す。よつ葉福祉会様は、障害者

支援の中でも通所系のサービス

をメインに多岐にわたる事業展

開をされており、地域社会にお

ける地域生活支援の重要性や、

多種多様な利用者ニーズからの

目標達成へとつなげるための視

点などを学ばせていただけるの

ではないかと思っています。

この法人間交流研修会をおし

て、お互いの法人が情報や知識を共

有し、地域・圏域を越えたつながり

をさらに深めていき、福祉課題を抱

えサービスを必要とされる多くの

方々のために、さらなる発展を目指

していきたいと考えております。

そして、がんばってくれている職

員の方々が、サービス体系や種別は

違えども、人を支える仕事として

個々の課題に向き合い、お互いの法

人の発展、また参加される職員の発

展、一番は利用者の生活の質が向上

することを期待しています。

株式会社あきんどスシロー 障害者雇用の取り組み

今や誰もが知っている回転寿司チェーン店の「スシロー」。全国に約400店舗を展開されている。そのスシローを運営する「株式会社あきんどスシロー」さんで障害者雇用を担当されている家住さんとソプラス・井端所長が対談し、「スシロー」における障害者雇用の取り組みをご紹介します。

ソプラスでは、ジョブコーチ研修でスシローさんとお知り合いになり、店舗での職場実習や雇用で大変お世話になっている企業です。

株式会社あきんどスシロー 障がい者雇用促進課

NPO法人よつ葉福祉会ソプラス

家住 教志



井端 郁人



Q1 スシローさんが障害者雇用を始めたきっかけは何ですか？

2009年までは本社の事務職で数名採用していました。2010年、社会的責務を果たすためと、企業理念の一つである『地域に喜ばれる店を作る』を実現するために店舗でのアルバイト採用をすすめることになったのがきっかけです。

Q3 そのときのプロジェクトチームで今も活動をしているのですか？

いいえ。2年ほど前に本社に専任の部署を設置しました。当社は現在全国で160名を超える方にご勤務いただいているのですが、採用から定着まで現場をサポートする体制をととのえたことが、雇用が進んだ理由のひとつではないかと思えます。

Q2 店舗での雇用をどのようにすすめていかれたのですか？

まずは雇用促進のためのプロジェクトチームを結成し、関係機関と連携し、モデル店舗での実習受入れからスタートしました。それから徐々に他の店舗でも雇用をすすめていきました。

Q4 障害者雇用を行って変わったことはありますか？

障害者の成長だけでなく、職場従業員の成長が見られるようになりました。働く障害者に配慮するうちに、お客様への配慮が自然にできるようになり、接客態度をはじめとした顧客サービスの向上に好影響をもたらしています。現場で働く従

業員からは、「休まず勤務してくるので助かる」「真面目で

仕事丁寧だ」といった声がかきか

れ、障害者の勤務態度が他の従業員

の模範になっています。

また、近隣店舗での取り組みや

評判を聞き、自分の店でも取

り組みたいと店長が自発的に

障害者雇用を申し出るようになり

ました。

Q5 今後どのように障害者雇用を展開されますか？

これまで通り、店舗での採用を積極的にすすめていきたいです。同時に、すでに受け入れている店舗では、障害者の方に働き続けていただくために、働きやすい職場環境を保つことにも注力していきます。

Q6 私たち就労支援機関に期待することは何ですか？

就職前は本人の適性を理解し、本人に合った仕事の提案をしていたきたいです。就職後は現場と連携しながら、定着に向けた確かなサポートをしていきたいです。

そして、職場は仕事を教える場所であり、本人には基本的なマナーができていくことが求められます。支援員の方々には、ご自身の対応や言動がモデルになることを常に意識して行動していただくことを期待しております。

このたび、家住さんには大変ご多忙の中、貴重なお時間を取っていただきました。スシローさんの障害者雇用の取り組みを通じて、私たちのやらなければいけないことも見えてきたように思います。本当にありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。（井端）

よつ葉福祉社会からのお知らせ

和歌山県共同募金会様より助成をいただきました

<ソプラス自立訓練（生活訓練）のためのエアコン設備整備事業>

このたび、ソプラスの自立訓練（生活訓練）のエアコン設備について、ご助成いただきまして誠にありがとうございました。障害のある人たちが、快適な環境の中で訓練に取り組まれています。

<でいっちゃん（放課後等デイサービス）備品設備整備事業>

このたび、でいっちゃんの備品（机、椅子）の整備について、ご助成いただき誠にありがとうございました。和歌山県から委託を受けて実施した、地域発達障害サポートプログラム事業をでいっちゃんに継続して事業を行っています。

ご助成いただいたことに感謝しながら、今後も障害のある人たちの支援にまい進して参ります。本当にありがとうございました。

（理事・事務局長 大矢哲司）

平成27年度知的障害者及び発達障害者の方を対象とした

居宅介護職員初任者養成研修を開講します

和歌山県では、知的障害者及び発達障害者の方々がサービスの受け手としてではなく、サービス提供の担い手として、社会参加していくことを目的として、知的障害者及び発達障害者の方々を対象とした居宅介護職員初任者養成研修を実施し、ケアスクールひと葉では、和歌山県から委託を受け、本養成研修事業を開催します。

日 程 平成27年7月17日（金）～ 9月23日（水）
場 所 ケアスクールひと葉（かつらぎ町佐野677-1）

また、障害のある人を対象とした職業訓練として、障害者委託訓練・介護訓練科を開講します。

日 程 平成27年8月28日（金）～11月27日（金）

（ケアスクールひと葉 井端）

第11刊はくあ通信の「企業応援団 File9」を拡大し本誌掲載により、平成27年7月15日発行（第11刊）は休刊させていただきます。第11刊の発行は、平成27年10月15日を予定しております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。